

あいづ創生市民会議 ふくし分野意見概要1/2（平成27年9月18日現在）

<福祉全般／横串の連携>

- ①医療と福祉、子育て環境の充実
- ②幼老施設（子ども、高齢者が過ごすこと、交流できる多目的施設）の設置
- ③母子家庭の悩みを高齢者が相談に応じる
- ④医療と介護の壁の打破
- ⑤コミュニティセンターを活用し、高齢者が有償ボランティアで子どもの面倒をみる
- ⑥遊び（子ども）と高齢者（リハビリ）の融合

<健康分野>

- ①健康ポイント制の導入
- ②病気の早期発見につながる事業
- ③生産年齢（15～64歳）の拡大。高齢者を地域の力に
- ④食育の充実

あいづ創生市民会議 ふくし分野意見概要2/2（平成27年9月18日現在）

<高齢者分野>

- ①高齢者の呼称のシニアへの変更
- ②介護施設の充実
- ③介護関連事業へのあっせん
- ④老後安心して生活できる場所の設置
- ⑤高齢者の気持ちを持ち上げる。
- ⑥高齢者の生きがいつくり
- ⑦地域のシニア世代によるボランティア支援制度の構築
- ⑧お年寄り世代に対する雪道の確保
- ⑨定年の見直し

<障がい者支援>

- ①障がい者をターゲットとしたまちづくり
- ②個別ケースに対応できる細やかな行政

あいづ創生市民会議 ひとづくり分野意見概要1/2（平成27年9月18日現在）

<子育て支援>

- ①子供の見守り
- ②公共施設、イベントにおける託児所の設置
- ③子育てと就労と余暇活動が両立できるような支援づくり
- ④保育、子育て、育児相談の充実
- ⑤子育てへの人的、財政支援
- ⑥子どもの居場所づくり（児童館、コミセン、公民館、こどもクラブの活用）
- ⑦100%行ける託児所、幼稚園があることにより安心して働くことができる。

<経済的支援>

- ①保育園、幼稚園の無料化
- ②子育てにかかる費用の無料化
- ③進学を希望する子への支援（就学資金、就学支援）
- ④親の経済的負担を減らす（義務教育、こどもクラブ利用保育料）
- ⑤学校（中学校まで）無料化

<教育内容>

- ①子供たちが大人になったとき、結婚して子供をつくりたいと思えるような教育を行う（女性の役割、男性の役割）を教える
- ②女性先駆者の継承教育をする

あいづ創生市民会議 ひとつづくり分野意見概要2/2（平成27年9月18日現在）

<教育施設等の整備と誘致>

- ①ゆったり学習できる公共施設
- ②子どもと一緒に親子で遊べる施設
- ③通勤、通学路の確保
- ④若者を流出させないため、次につながる環境づくり（専修学校や専門学校）の誘致

<会津大学>

- ①会津大学を総合大学に
- ②会津大学については、技術面での出会い、学生と地域との出会い、農業とITとの出会いなど。会津大学を十分に活用できていないので、活かしていくことが重要

<学校給食>

- ①学校給食や企業の食堂への地元の食材と食器の使用
- ②うるしの器を日常使いにする（給食の器）

<生涯学習・文化>

- ①地域統合よりも教育、地域文化、地域交流
- ②個性・特色／文化度の向上
- ③映画館、美術館を作る
- ④御薬園は、薬園といいながら、薬草が植えられておらず、薬膳料理を食べられるわけでもない。薬膳をもっとPRしてはどうか。薬草園を作り、薬膳料理を出し、漆器や会津本郷焼に乗せて提供してはどうか
- ⑤会津の人間が歴史文化を知らないということがあるので、内の人に向けての発信も重要

あいづ創生市民会議 しごとづくり分野意見概要1/5（平成27年9月18日現在）

<産業振興全般>

- ①個性を大事にする
- ②流行を追わない
- ③会津にしかない商品の開発
- ④会津内でできることは会津内で完結させる
- ⑤指導する方を外部より招き、アドバイスを受ける。マンネリ化しないように ※マスコミの力を借りる
- ⑥東京を経由しないで世界へ

あいづ創生市民会議 しごとづくり分野意見概要2/5（平成27年9月18日現在）

<観光>

- ①個性・特色／イベント百連発（カメラ、アニメ、鉄道、こけしなど）
- ②観光客の誘致
- ③観光を通してPRし、来る人（外貨）を獲得
- ④新しい観光を生み出す。冬の雪を利用した除雪ボランティア、旅行や資源の発掘
- ⑤休日は体力づくりのできる温泉施設
- ⑥地域資源と地元民の生き生きとした暮らしが意識の高い観光客を呼ぶ！！
- ⑦ストリート名を昔に戻し、地図やナビに盛り込む
- ⑧冬季における観光イベント
- ⑨冬季対策に賛同する会員募集（しごとづくり応援希望）（特に観光業界の営業係）魅力ある素材（商品）作るの
で、官民協力、定年後の方々も希望者、ボランティアで参加。会場の選定300～500名収容の会場必要（文化セン
ター、風雅堂、民間の施設）集客地、主に首都圏4200万人の内、定年後の高齢者ほか、国内のメディア専門営業
部、海外からの観光客
- ⑩魅力ある感動する観光の目玉として、17市町村の会津郷土民族芸能と会津17市町村の食のまつりの実施
- ⑪アグリツーリズム、仏都会津 隣接自治体との連携
- ⑫観光資源の見える化（ガイドが楽しくなるガイド育成）
- ⑬歴史的ポイントの宣伝
- ⑭会津らしい体験のできるテーマパーク（食、子ども遊び、地産地消、教育、子ども、女性らしさ）
- ⑮ガイドコンシェルジェの育成

あいづ創生市民会議 しごとづくり分野意見概要3/5（平成27年9月18日現在）

<地場産業（ものづくり）>

- ①会津で物をつくり、他地区で売れる産業をつくる
- ②地場産業を活性化する。商業、工業、農業共
- ③大企業誘致だけでなく、地元中小企業を育てる。
- ④会津にしかない商品の開発
- ⑤エネルギーを作るために使う木を木の器にも利用
- ⑥伝統産業の見える化

<商業>

- ①今ある商店街の活性化
- ②地元の人買い物や通院、行政機関への交通アクセスの整備向上と商店街の近くの駐車場の完備
- ③個人経営でも20件が自立できれば、20~40人の雇用が確保できる。中小企業を誘致したと同じ効果が見込める。
- ④買い物できるお店
- ⑤<一軒店舗の改革>一軒で奥行き長い店舗を小店舗とし、経営者は運営管理する。小さな専門店のようにすることで専門知識が要求されます。お客もそれぞれのニーズ、店を選べ、ショッピングが楽しめる。資金面は地域にソーシャルワーカーが相談に乗る。
- ⑥個性・特色／Pub
- ⑦女性も入りやすい飲み屋
- ⑧都会（のお店）を目指さない
- ⑨家族で遊べる施設の充実（ショッピングモール、アミューズメント、公園）

あいづ創生市民会議 しごとづくり分野意見概要4/5（平成27年9月18日現在）

<中心市街地活性化>

- ①中心市街地として「郭内」を再定義。もう一度「郭内」を意識してみる。郭内⇒侍シティ。
郭外⇒商都会津（七日町通り・本町通り等街道沿いの商店街、アーケードの神明通り等、特色を出す）
- ②若い人達のたくさんいる街づくり、ファッション性がある、魅力のある活気のある〇〇が必要
- ③会津伝統文化のおしゃれなまちづくり
- ④裏通りの魅力
- ⑤空き店舗活用、あまりきれいにしない
- ⑥<街中笑顔づくり>
地域別に笑顔がすてきな人を地域の人から選び、1年間委嘱。委嘱された人は笑顔バッジ等付け、案内コンシェルジェ免許が受けられる。また委嘱者には年間、入場料、食事代を給付し、自分で地域内を食べ歩き（この店のこの味を推薦するため）任期終了後は街中ガイドコンシェルジェに進める。
- ⑦惣菜横丁（女性の社会参加）

<雇用・企業立地>

- ①会津シリコンバレー 会津若松市内のIT企業を集める。移転のための費用や家賃の差額分などは行政が負担
- ②日本で10店舗目、東北で2店舗目となるアップルストアの誘致
- ③雇用を安定させる（企業誘致）
- ④会津シリコンバレー 企業誘致
- ⑤会津シリコンバレー 起業支援
- ⑥Uターン、Iターン、起業家育成支援事業
- ⑦夫（妻）の安定した収入
- ⑧仕事マッチング事業

あいづ創生市民会議 しごとづくり分野意見概要5/5（平成27年9月18日現在）

<農業振興>

- ①農業を含め産業の6次化。ものづくりから販売まで一貫した流れをつくる
- ②地場産業を活性化する。商業、工業、農業共
- ③有機農業を奨励し、有機農家に手厚い助成金を行う。中途半端はいけない
- ④農業の再興、地産地消の促進
- ⑤米粉コンテスト等食関係のコンテストをしているようだが、せっかく一位になっても、外への発信が不足して、飲食業の結束が得られていない。
例：会津の食シリーズ参加店がバラでメニューを作ってもしょせん食シリーズの意識が得られないところで発信してもムダではないか。
- ⑥絶対的自信のある食べ物売り込む
- ⑦地産地消を進める

<林業振興>

- ①CLTの生産工場をつくる
- ②安全安心な水・空気・食料の確保に向けて森を守る。森を会津若松市に寄付してもらう
- ③林業（産業として成り立つ）

あいづ創生市民会議 まちづくり分野意見概要1/2（平成27年9月18日現在）

<環境・エネルギー>

- ①再生可能エネルギーの推進（地産地消ポイント制度など）
- ②CO2排出削減のため、マイカー通勤には課税する。自転車通勤には逆にそのお金を助成する。
- ③生ごみは分別収集し、燃やさないで飼料や肥料、埋め立てしてバイオガスとして利用する
- ④エネルギーは太陽光、風力、バイオマス、水力等を利用し、自給できる体制をつくる。ペレットストーブ、薪ストーブ購入者に助成金を出す
- ⑤原子力発電所をなくす。地元のエネルギー 残材を利用する
 - ・電気エネルギー：水力、太陽光、風力、地熱、バイオマス
 - ・運送エネルギー：なたね油、ダイズ油
 - ・熱エネルギー：ペレットストーブ
- ⑥再生可能エネルギーの普及による地域経済活性化：市民ファンドの立案
- ⑦再生可能エネルギーの普及による地域経済活性化：専門家による勉強会の開催
- ⑧再生可能エネルギーの普及による地域経済活性化：地元企業や地域住民、自治体などとの情報交換及び連携
- ⑨地産地消、の電気、熱エネルギーづくり
- ⑩環境の整備

<危機管理>

- ①市民や行政はお互いを信頼し一緒に取り組む。例えば防災について、危機管理、環境生活、地域福祉、教育委員会、障がい者支援、高齢福祉課が一体になって取り組み、市民（各団体）と話し合う組織づくりを今すぐつくるべき

<ICT活用／オープンデータ>

- ①スキがある街（情報公開）
- ②ITの活用による見える化（道路案内、うまいもの案内）

<景観>

- ①会津らしい景観（特徴のある看板など）→観光で会津を訪れた人が会津は〇〇（漆器、酒など）の町なんだなあと、はっきりと記憶に残るような看板や仕掛けを作る
- ②画一的な看板を順次、古く危険なものから廃止、変更する。看板のない街が理想

あいづ創生市民会議 まちづくり分野意見概要2/2（平成27年9月18日現在）

<都市デザイン・公園>

- ①個性・特色 人が集まる街角公園
- ②まち全体のバリアフリー
- ③健康に気を使っている公園、はだしで歩ける、石を埋め込む、ぶら下がる所など、健康な大人老人を増やす
- ④電柱地中化を進め、その代わりに木を植える
- ⑤子供の遊び場の充実（地区などにある公園）
- ⑥散歩できる場所の確保（小学校区単位）

<公共交通等>

- ①都市交通、身近な住環境を暮らしやすくする
- ②大町通り→市役所→お城→飯盛山→会津若松駅を市電を走らせる。観光にもつながる。乗り放題とする。通勤や通学に利用
- ③公共交通は一定金額とし、乗り放題とする
- ④西若松駅の駅舎を利用し、商店、出店、多目的福祉施設を設置

<雪対策>

- ①雪かき隊の編成
- ②降雪ロボット
- ③積雪時の連絡体制の一層の強化を図る
- ④雪に強いまちづくり（道路、家、安心買い物）
- ⑤IT技術を利用した除雪ロボットの開発や融雪技術の開発

あいづ創生市民会議 きょうどう分野（協働/行財政）意見概要1/2（平成27年9月18日現在）

<全般/理念>

- ①市民一人ひとりが持続可能なまちづくりについて関心を持ち、参画する、できることを行う
- ②スキのあるまちづくり 行動for会津 学生と手を動かす活動を行っている行政が何をしてくれるかではなく、自分が会津に何ができるか
- ③各分野で一つの目標に向かい、いわば連携と交流を行い、評価システムで改良して進めば現状打破できるはずと思う。（市民の結束が第一の目標）
- ④連携と交流、助け合い
- ⑤武器を売らない/戦争を手伝わない
- ⑥会津三泣きというが、一回目に泣かせてしまっはしかたない。最初に良い思いをして出会っていただくことが大切
- ⑦「知らないとどうしようもない」、知らなければ出会えないため、特に情報と人との出会いが重要

<地域コミュニティ>

- ①安価で集まれる場所の確保（小学校区単位）
- ②コミュニティハウスをつくる
- ③よそ者、若者を入れる、がむしゃらに進める「ばか者」をつぶさない
- ④常時集会所の利用と人材育成を行うこと
- ⑤コミセンの活用
- ⑥世代間交流
- ⑦無尽の再発見
- ⑧人材育成、人材発掘
- ⑨若い世代、女性のコミュニティへの参加（古い伝統を変える仕組み）

あいづ創生市民会議 きょうどう分野（協働/行財政）意見概要2/2（平成27年9月18日現在）

<協働>

- ①協働による地域支え合いネットワークの構築
- ②私たち市民や行政はお互いを信頼し一緒に取り組む。
- ③市民活動が活発なまちを情報を共有したうえで主体的にまちづくりへ参画していくことやそれぞれの持ち味を出して進めていくこと
- ④社会資源による協働

<市民活動支援>

- ①各種ボランティアができる環境づくり（生きがいづくり）
- ②市民活動：生活不活発病の予防
- ③行政等と連携しながら一緒に活動していく仲間を作る。（地域資源の掘り起こし）
- ④ボランティアの充実

<女性活躍 ワークライフバランス>

- ①女性初代市長の誕生をはじめ、行政や政策実現のトップに目線を変えるための方法
- ②残業ゼロへの取り組み
- ③女性の世界No.1の育成
- ④男性の就労時間を減らしたり、休暇をとりやすくする等、労働条件の向上
- ⑤横のつながりを生かし、男女ともに働きやすいまちづくり

<結婚支援>

- ①縁結びマッチング事業

<定住・二地域居住>

- ①盆地の気候、水、歴史、林業、農作物等で会津に興味を持つ人がここに住める行政の施策
- ②空き家・古民家を利用した出会い